



PDA 即興型英語ディベート 全国中高教員向け即興型英語ディベートワークショップ 2024

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2024年3月2日（土）10:00-16:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：教員 22名

ジャッジ：PDA スタッフ

このワークショップでは、1日を通して、50分授業で完結する即興型英語ディベートについて理解を深めていきます。その内容は5コマに分かれており、「立論の仕方」「反論の仕方」のようにテーマを設け、PDA スタッフのレクチャー後、ディベートとジャッジの実践を行い、各テーマへの理解を深めました。

はじめに、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事・中川智皓より、挨拶と共に授業導入における設計ポイントについて説明がありました。



PDA 代表理事・中川智皓によるご挨拶

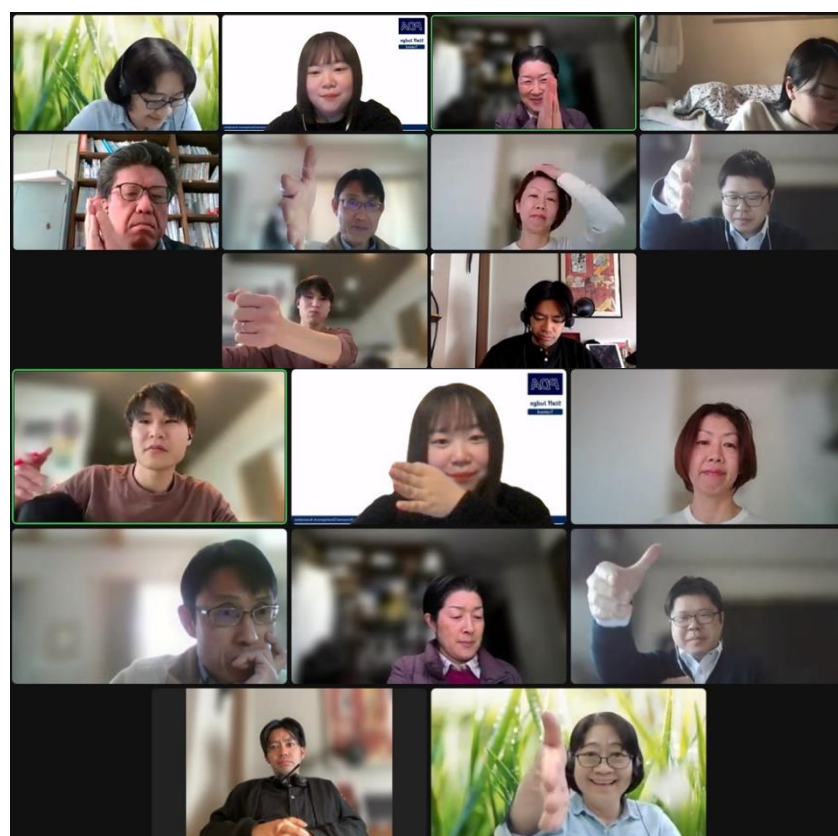
1コマ目の「ルールの本質」では、POI（Point of Information）も行いました。ディベート後のジャッジによるコメントを待つ間は、生徒だったらどのようなポイントを立てるか、より説得的な立論にするためには何が必要かなど教員同士で意見交換をしました。



POI の練習



ディベートの様子



ディベート後のエアークラップの様子



ジャッジ実践の様子

参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・他校の先生とディベートをする機会がないので、本当に楽しかったです！刺激になりました。生徒への指導にも生きてくるはずです。
- ・初めて、ディベートというものを見せていただき、ついていくのが大変でしたが、とても参考になりました。
- ・久しぶりに1日のうちでたくさんディベート練習ができたこと、他の先生方のディベートのスキルが徐々に上がっていくのがとても興味深かったです。
- ・初めて自分でディベートしたので、新しい経験で楽しかったです。
- ・ディベート実践、AREA や反論の作り方など良かったです。
- ・レクチャーも実践も学ぶことが多かった
- ・ディベートを通して立論・反駁・リプライの技術と表現方法を学ぶことができました
スタッフさんのジャッジ・フィードバックが素晴らしかったので、ここが正確にできると生徒たちにもプラスになると感じました
- ・実際やってみて、自分の力の不足している点が分かってよかったし、他校の先生方の英語から学べるところが非常に多くあった。
- ・PDA スタッフの分析やコメントが的確でありしかもモチベーションを上げてくれるものであったので、自分のそのように生徒にフィードバックできるようになりたいと思った。